

# 沖縄県のMICE振興について



# 1. 沖縄振興におけるMICEの位置付け

## 沖縄振興基本方針（令和4年5月10日内閣総理大臣決定）

### Ⅲ 沖縄の振興に関する基本的な事項

#### 1 観光、情報通信産業、農林水産業その他の産業の振興に関する基本的な事項

##### (1) 観光・リゾート産業

……、文化・芸能、自然環境等の沖縄独自の地域資源を活用した滞在型観光の推進や、健康、農業等の他の分野・産業と観光との連携促進を図るとともに、スポーツ交流拠点の形成や **MICE の誘致・開催を図る**。……

## 新・沖縄 21世紀ビジョン基本計画（令和4年5月15日 沖縄県）

### 基本施策3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して

#### (2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革

##### オ マリントウンMICEエリアの形成を核とした戦略的な MICE の振興

##### ① MICE振興とビジネスツーリズムの推進

- ・ マーケティング力や分析能力等の強化、ニーズを踏まえた誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等
- ・ 本県の優位性を生かしたMICEの開催・誘致に向けた支援
- ・ 「安全・安心なMICE開催地」の取組の国内外への発信と主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組の推進

##### ② マリントウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備

- ・ マリントウンMICEエリアにおいて大型MICE施設整備の推進と、宿泊施設や集客施設等の立地促進などMICEを中心とした魅力あるまちづくり
- ・ 沖縄MICEネットワークを活用した連携強化、施設間の協同による大型MICE案件の受入促進、MICE主催者等のニーズを踏まえた基盤の整備などの全県的なMICE受入体制の整備

##### ③ MICE を活用した関連産業の振興

- ・ 沖縄MICE ブランドの構築や、安全・安心なMICE 開催と高付加価値なMICE コンテンツや受入プログラムの開発等
- ・ 情報通信、物流関連、ものづくり、飲食・小売など様々な事業者によるMICE 関連ビジネスへの展開の促進

## 2. 沖縄県MICE誘致方針【沖縄県MICE振興戦略】

方針Ⅰ リゾート資源を生かした企業ミーティング、インセンティブ旅行の誘致

方針Ⅱ 大学・産業界との連携による質の高いコンベンションの誘致・開催

沖縄のMICE都市としての評価や認知度を高めるため、政府系国際会議の誘致に向けた国等への働きかけや、国際会議協会（ICCA）や国際団体連合（UIA）の基準を満たした国際会議等の誘致に取り組みます。

【ターゲット分野】

- ① アジア経済戦略構想に掲げる重点戦略分野  
⇒ 国際物流、観光リゾート、航空関連産業、情報通信関連、ものづくり関連
- ② 県内で先駆的な調査研究が進められている分野  
⇒ 先端医療・健康・バイオ関連、環境・エネルギー関連、平和・安全保障関連等

各省庁連絡会議の下、  
誘致の取組の強化を目指す。

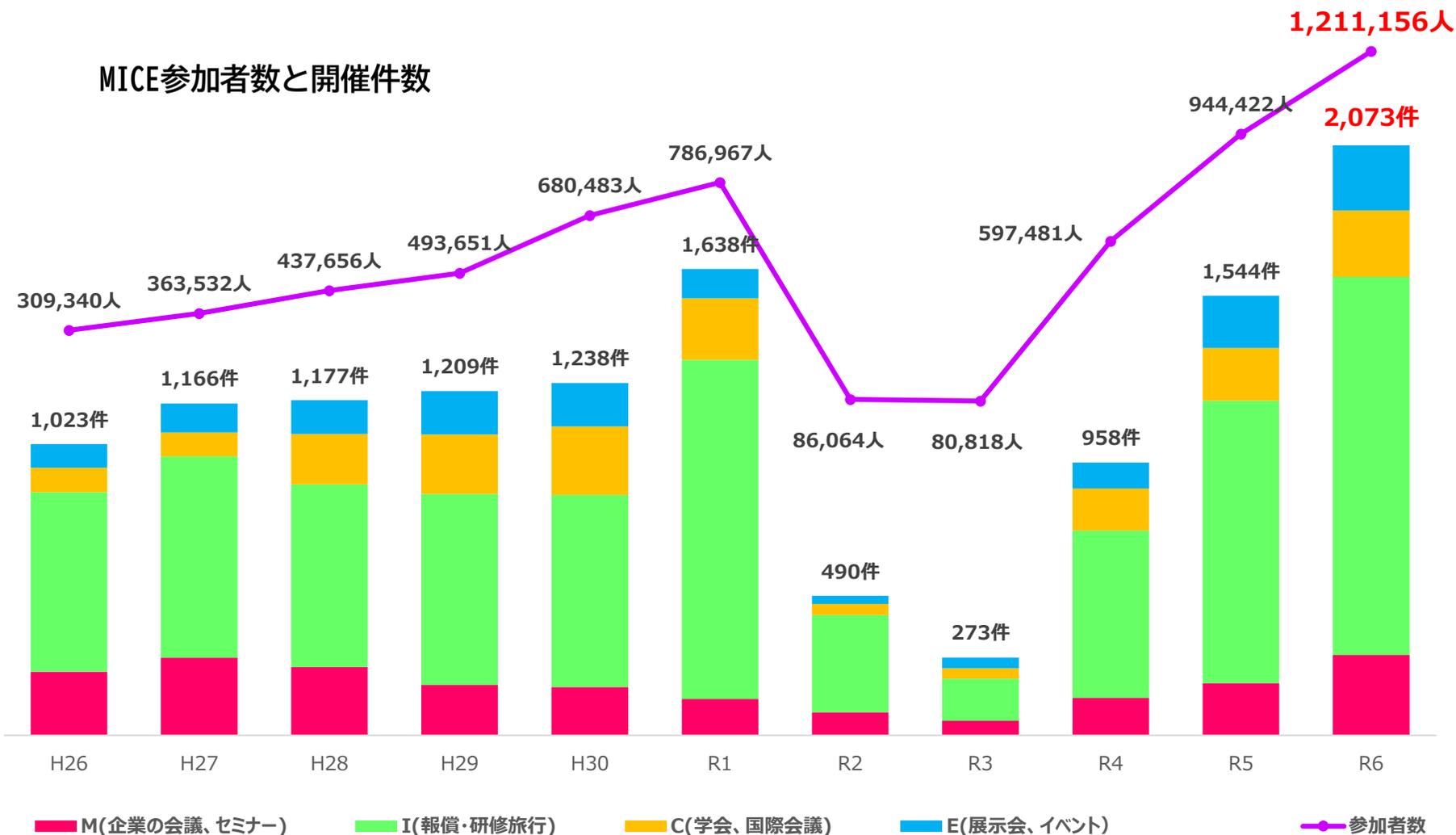
方針Ⅲ アジアの活力を取り込む展示会・商談会等の誘致・開催

（実績と目標）

施策名	指標名	実績	目標値	
		R6年（2024年）	R9年（2027年）	R13年（2031年）
MICE振興とビジネスツーリズムの推進	MICE開催による経済効果（直接効果）	473億円	635億円	708億円
MICEを活用した関連産業の振興	MICE開催による経済波及効果（間接効果）	561億円	679億円	756億円
観光交流、経済交流等の推進	MICE開催件数 （うち、コンベンションの件数と全体に占める割合）	2,073件 （233件、11%）	2,492件 （324件、13%）	2,782件 （362件、13%）
マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備	1,000人以上のMICE開催件数	119件	141件	158件

# 3. 沖縄県内におけるMICEの開催状況

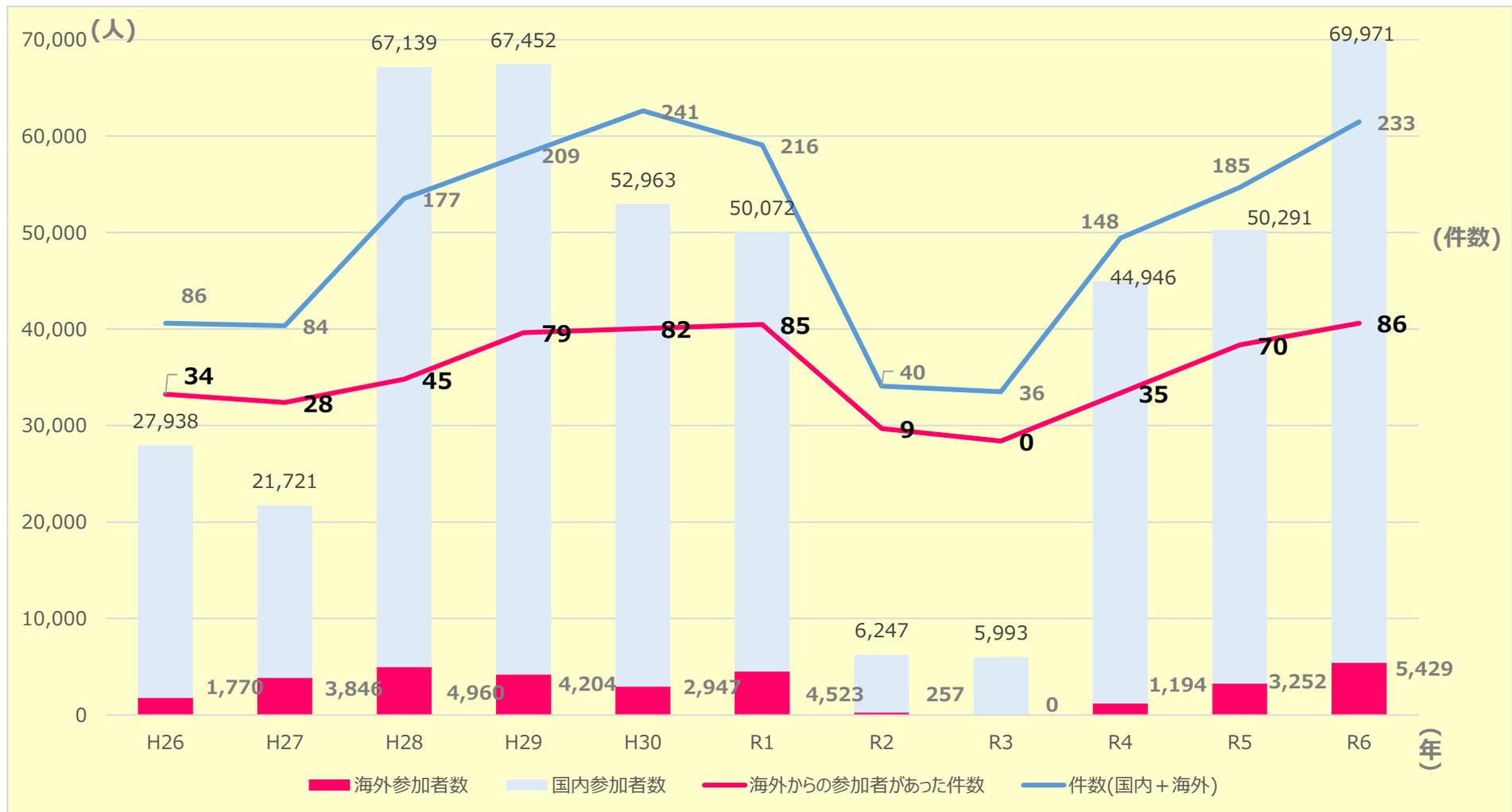
MICE参加者数と開催件数



出典：沖縄県MICE開催実態調査

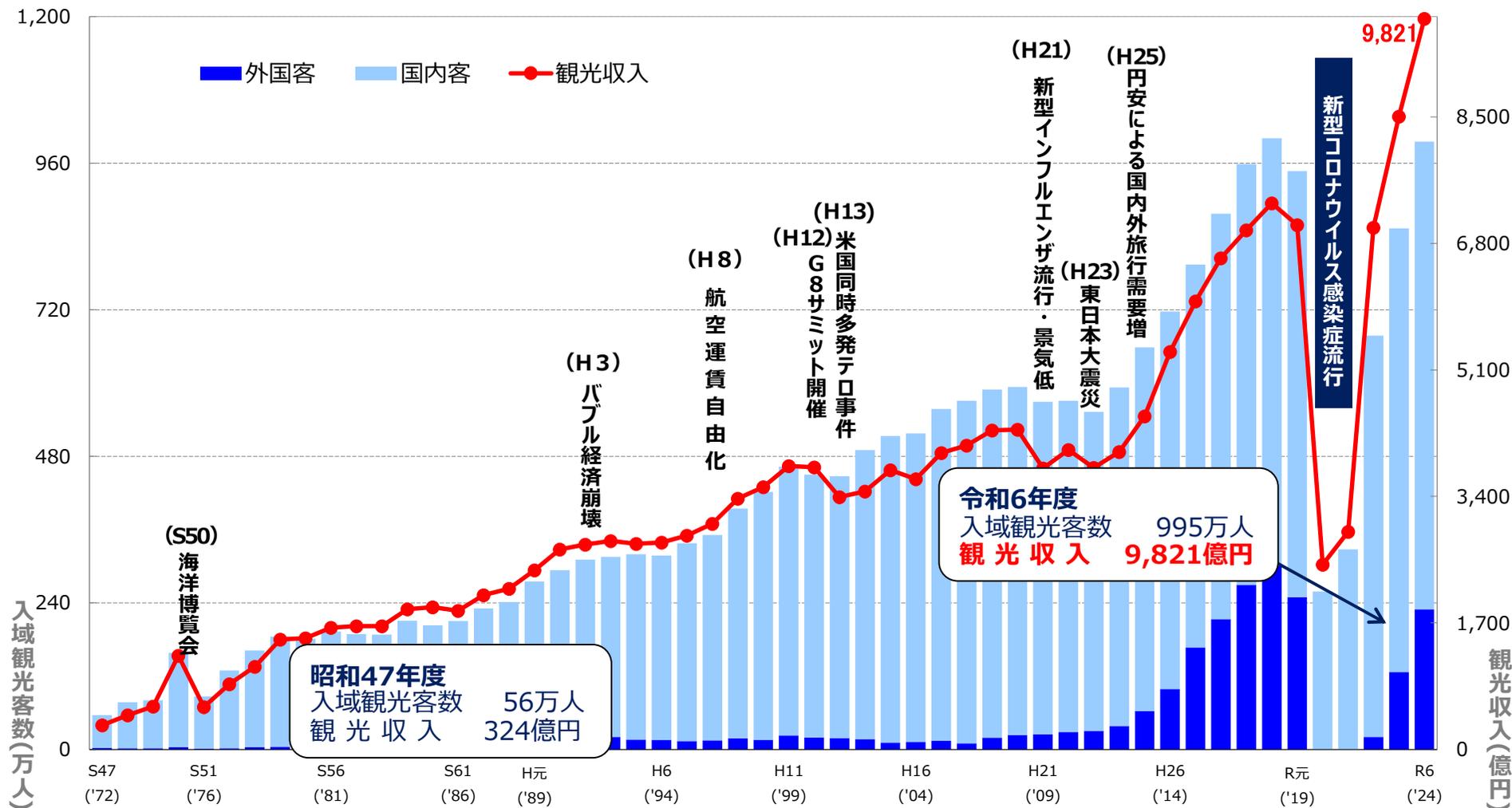
- ✓ 令和6年のMICE実績は2,073件・参加者約121万人
- ✓ 調査開始以降で最多を記録したコロナ禍前（R1）を超える件数、参加者数

# 3-1. 沖縄県内におけるコンベンションの開催状況



- ✓ コンベンションの件数はコロナ禍前の約97%まで回復
- ✓ 令和6年のコンベンション参加者数や海外からの参加者があった件数は過去最高

## 3-2. (参考) 沖縄観光の推移 ～入域観光客数・観光収入～



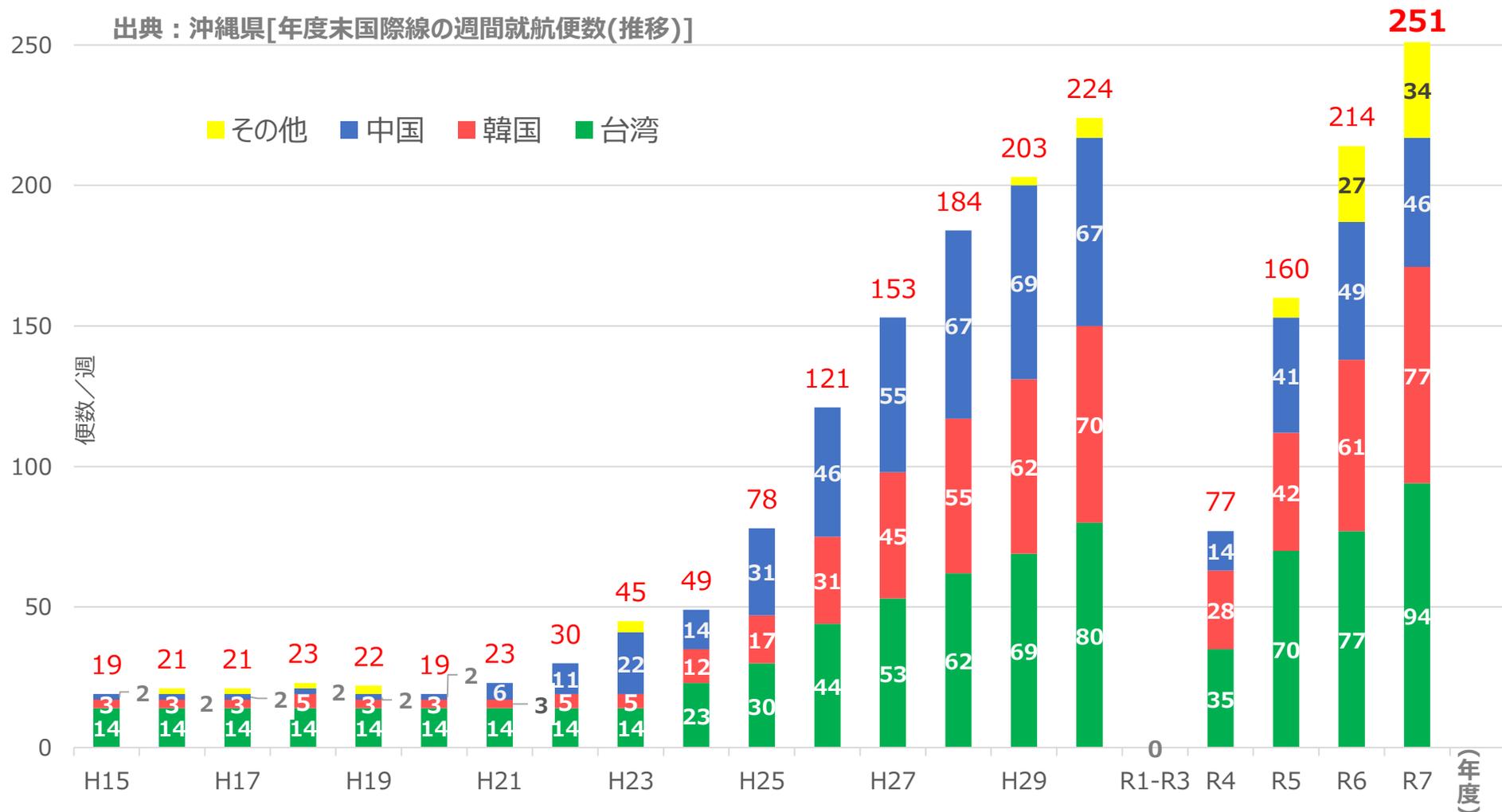
- ✓ R6年度入域観光客数は約995万人、H30年度の99.5%の水準まで回復
- ✓ 観光収入（試算値）は過去最高の約9,821億円

※入国制限等により調査できなかった期間は、令和元年度同期間の一人当たり消費額を用いて観光収入を試算

# 3-3. (参考) 沖縄観光の推移 ~国際線の週間就航便数~

R7年11月30日時点

出典：沖縄県[年度末国際線の週間就航便数(推移)]



- ✓ 国際線の週間就航便数は、平成30年度の1.1倍と好調
- ✓ 平成30年度と比較し、台湾、その他地域で増加傾向

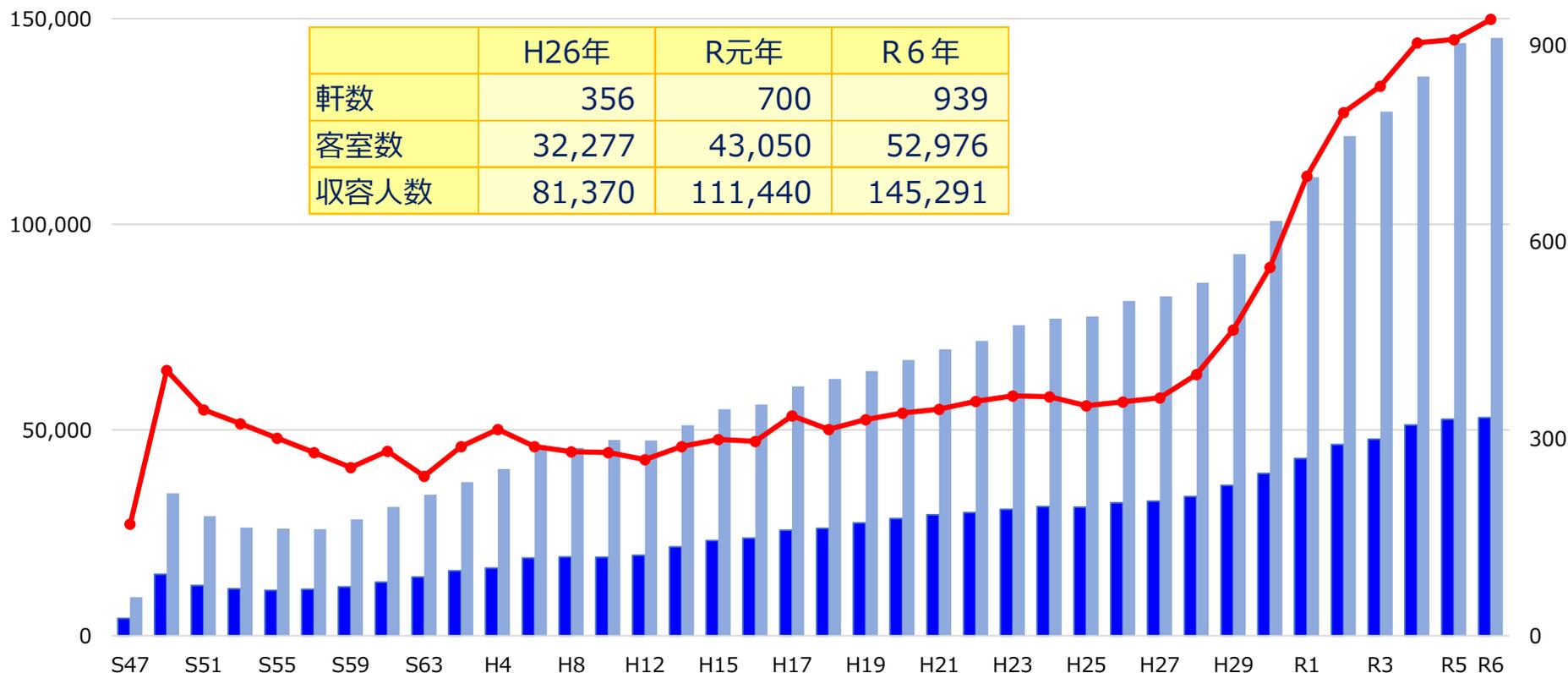
# 3-4. (参考) 沖縄観光の推移 ～客室数・収容人数・軒数～

■ 客室数   ■ 収容人数   ● 軒数

※ホテル・旅館：リゾートホテル、ビジネス・宿泊特化型ホテル、シティーホテル、旅館  
 ※H14までは隔年調査・H15以降は毎年調査

客室数、収容人数

軒数



- ✓ 平成以降は右肩上がり・コロナ禍においても増加
- ✓ R6の客室数は10年前(H26)の約1.6倍、コロナ禍（R元）も2割増

## 4. 令和6年度開催のコンベンション事例①

# 国際自然史標本保存学会（SPNHC）生物多様性情報標準化委員会（TDWG）（スピナッチー・タドウィッグ）2024合同大会

【会期】 令和6年9月2日（月）～6日（金） [5日間] **ICCA掲載**

【会場】 沖縄コンベンションセンター、ラグナガーデンホテル、沖縄科学技術大学院大学（OIST）

【参加人数】 377人（海外:343人/県外:24人/県内:10人）、オンライン:約200人

《概要》 2019年のJNTO国際会議キーパーソン招請プログラムを契機に、豊かな生物多様性を誇る島嶼地域であることや、自然史科学研究における国を越えた連携の強化が期待されるアジア太平洋地域を俯瞰した時の中心的な立地であることが評価され、開催地として決定。

大会は主催者・運営事業者がサステナビリティガイドラインを意識したMICE運営を行った他、サンゴの村創りツアーを実施し、参加者からも好評。

「沖縄MICE 開催におけるサステナビリティガイドライン」に沿って大会を開催



OISTにて「持続可能な赤土流失対策」について、模型を使った実験やクラフト作り体験



エコツアーでグリーンベルトの畑を視察



## 4-1. (参考) 令和6年度開催のコンベンション事例②

### 第1回日本放射線医療技術学術大会

【会期】 令和6年10月31日(木)～11月3日(日) [4日間]

【会場】 沖縄コンベンションセンター

【参加人数】 2,605人(海外:6か国、26人/県外:2447人/県内:132人)

《概要》日本の放射線医療における2大組織の(公社)日本診療放射線技師会(JART)と(公社)日本放射線技術学会(JSRT)が初めて合同で開催した大会。

「ゆいまーる ～診療放射線技術の共創～」をテーマに大規模な集客に成功。

当日は沖縄の名曲「ユイユイ」に合わせ、カチャーシーが行われるなど、沖縄の文化を活かした交流が行われた。

(沖縄では、「ユイ」とは「結い(結合、連帯)」を意味し、相互扶助の精神を表す言葉)

沖縄らしい食事、泡盛、オリオンビールの他、参加者持ち込みの地酒、泡盛試飲ブースのお酒で懇親会を開催



沖縄空手、ゆいゆいシスターズ等のアトラクションが行われ、特に海外参加者から好評



「おきなわ津梁ネットワークについて」をテーマに市民公開講座を開催



出典：主催者実績報告

## 5. 沖縄が選ばれる理由【沖縄MICEブランド】

- ・融合の文化、歴史。
- ・オープンな人柄、風土
- ・日本と世界のかけ橋、その精神

寛容な  
土地とヒト



自然豊かな  
リゾート

- ・豊かな生態系と美しい自然
- ・非日常の空間が生み出す
- ・インスピレーションと価値創造

アジアを繋ぐ  
整った環境

- ・地理的優位性
- ・産業基盤の整備
- ・先進課題研究の蓄積

「ひらめきや創造性と出会える場所」= 沖縄

○ブランドロゴ



## 5-1. 沖縄が選ばれる理由【ユニークベニュー】



福州園（那覇市）



石垣やいま村（石垣市）



バイクルーズ（宮古島市）



琉球村（恩納村）

## 5-2. 沖縄が選ばれる理由【MICEを支えるホテル】

### 南部【糸満市】

#### 琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ

- ・客室数443
- ・最大収容人数1,045名  
(大宴会場)



### 南部【那覇市】

#### ホテル コレクティブ

- ・客室数260
- ・最大収容人数476名  
(大宴会場)



### 中部【宜野湾市】

#### 沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん

- ・客室数340
- ・最大収容人数80名  
(プールサイドホール)



### 北部【恩納村】

#### 沖縄かりゆし ビーチリゾート・オーシャンパ°

- ・客室数516
- ・最大収容人数600名  
(ニライカナイ)



### 宮古【宮古島市】

#### ヒルトン沖縄宮古リゾート

- ・客室数329
- ・最大収容人数850名  
(ホールルームパナ)



### 八重山【石垣市】

#### ANAインターコンチネンタル 石垣リゾート

- ・客室数255
- ・最大収容人数570名  
(ホールルーム真栄里)



## 5-3. 沖縄が選ばれる理由【豊富なコンテンツ】



琉球芸能の歓迎アトラクション



SDGs教育×サンゴ苗作り体験



サンゴ染め体験



マングローブカヤック体験



サバニ体験乗船



森のフィールドワーク体験

# 5-5. 沖縄が選ばれる理由【サステナビリティガイドライン】

## 令和3年度 沖縄MICE 開催におけるサステナビリティガイドライン策定

本ガイドラインが目指す方向性

選ばれ続け、進化を続けるMICE 開催地「OKINAWA」

(抜粋)

沖縄が提供できる「価値」を高め私たちのビジネスを前進・発展させるためには、MICEの開催地として選ばれ続ける沖縄を共に創り上げていくことが大切です。それには、沖縄でのMICE開催に関わるすべての人が、サステナブルな取り組みについて考え、できることから取り組むこと。そして互いに連携し、継続して成長することで沖縄が提供する「価値」に「サステナビリティ」を取り込み、進化を続ける開催地にならなくてはなりません。これにより、サステナビリティに高い関心を持つ主催者から選ばれることに繋がります。



令和4年度 沖縄MICEネットワークでサステナビリティをテーマに勉強会を開催

令和5年度 沖縄MICEネットワークにて、サステナビリティ部会を新設

令和6, 7年度 サステナビリティ部会の活動を通し、サステナビリティガイドラインの普及促進

グリーンビジネスの  
推進

地域経済への  
貢献

MICE開催地とし  
てのブランド向上

持続可能なMICE  
受入体制の構築

# 5-6. 沖縄県内の主なMICE施設

## ● 沖縄市多目的アリーナ (沖縄市)

- ◆ 県内初の1万人規模の大規模アリーナ  
メインアリーナ、サブアリーナ、多目的室等を揃え、コンサートや展示会、大規模MICEにも対応可能
- ◆ 空港から約50分



## ● 沖縄コンベンションセンター (宜野湾市)

- ◆ 3つの会議場、劇場、展示場を備えた複合施設。会議、学会、展示会等、あらゆるMICEに対応可能
- ◆ 最大収容人数4,000名 (展示場)  
空港から約40分



おきなわMICEナビ

那覇空港

## 大型MICE施設建設地 (中城湾港マリンタウン地区)

- ◆ 令和7年度の事業契約締結に向け取組中
- ◆ 展示場面積：約10,000㎡

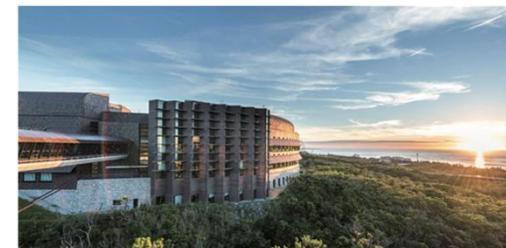
## ● 万国津梁館 (名護市)

- ◆ 2000年九州・沖縄サミットの舞台となったMICE施設  
ホール、カフェテラス等、様々な施設を用意
- ◆ 最大収容人数500名 (サミットホール)  
空港から約75分



## ● 沖縄科学技術大学院大学 [OIST] (恩納村)

- ◆ 最新技術を導入した講堂と分科会用の4つのミーティングルームを有する会議施設
- ◆ 最大収容人数493名 (講堂)  
空港から約60分



## 6. 令和6年6月の入札公告概要

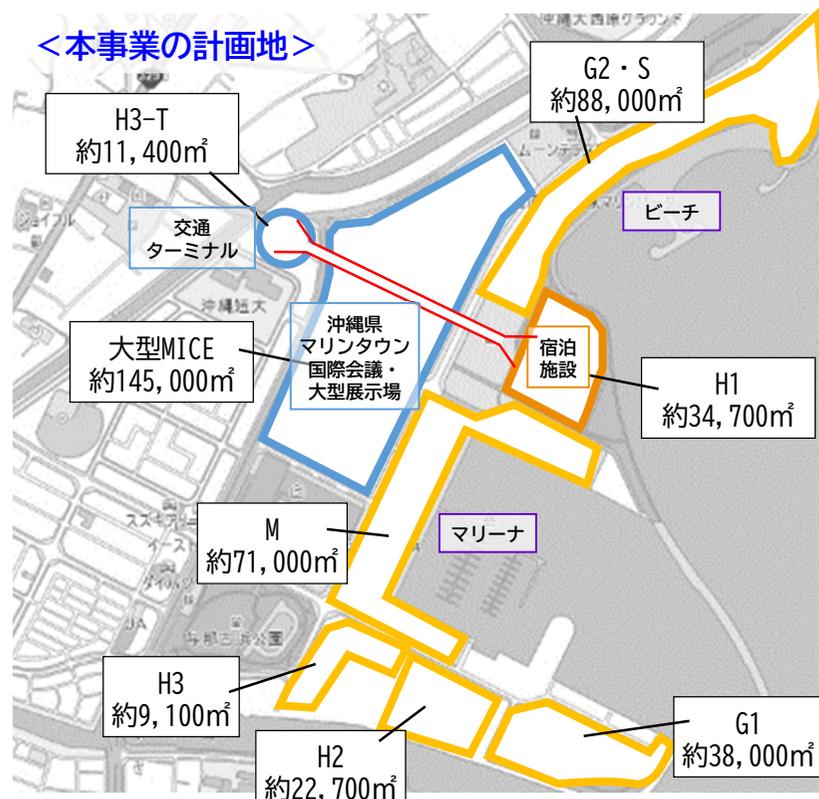
- ※ 令和6年6月25日（火）に入札公告を行い、同年9月18日（水）までの入札参加表明書等の受付に参加表明書の提出をした事業者はなかった。
- ※ 参加表明がなかったことから入札不調となり、再度の事業者募集に向けて事業条件を検討しており、令和7年度中に「沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画」を見直す予定。

# 6-1. 大型MICE施設整備の事業範囲①

## <事業と提案内容の区分>

事業	提案	施設	ゾーン	規模等	
特定事業	必須	沖縄県マリントウン国際会議・大型展示場	大型MICE	展示場	10,000㎡ 以上
				多目的ホール	7,500㎡ 以上
				会議室	3,400㎡ 以上 20~30室
				立体駐車場	2,000台 以上
				拡張余地	今回整備する展示場とあわせて、将来30,000㎡程度の展示場の面積を確保できる用地
		交通ターミナル	H3-T	シャトルバス、タクシー、送迎車両等を中心とした様々な交通機関の乗降又は一時待機場としての機能を有する施設	
ペDESTリアンデッキ	-	沖縄県マリントウン国際会議・大型展示場、交通ターミナル及び宿泊施設（H1）を結ぶ施設			
世界ウチナンチュセンター（仮称）	大型MICE	セミナー室、展示室、事務室等を備え、沖縄県マリントウン国際会議・大型展示場に併設した施設			
外構	-	上記に関連する外構			
民間収益事業	任意	宿泊施設	H1	①客室面積 平均40㎡以上 ②客室数 250室以上 ③スイートルーム 客室数の3%以上 ④レストラン、バー・ラウンジの設置 ⑤コンシェルジュデスクの設置	
		その他収益施設	大型MICE、H3-T、H1、H2、H3、M、G2、S、G1	事業者の提案による	

## <本事業の計画地>



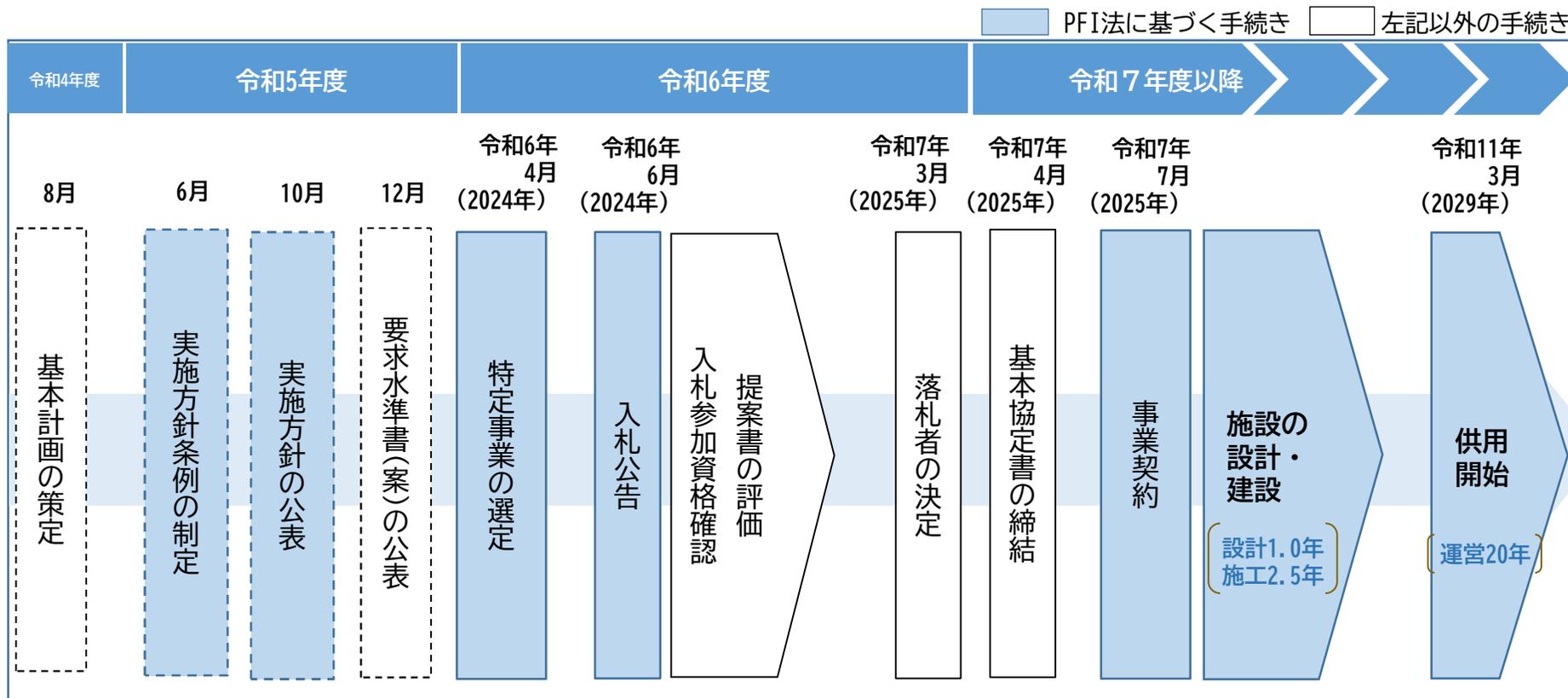
- (公共施設)
- : 大型MICE施設
  - : ペDESTリアンデッキ
- (民間収益施設)
- : 宿泊施設（必須）
  - : その他収益施設（任意）

## 6-2. 大型MICE施設整備の事業範囲②

★特定事業（公共施設）と必須提案事業（民間収益施設）の範囲



# 6-3. 事業スケジュール (R6.6月入札公告時の予定)



○ 実施方針条例の制定 (PFI法第18条) 【令和5年7月28日】

- 公共施設等運営権を設定する旨を実施方針に記載する場合、条例を定めなければならない。
- 条例には、事業者選定の手続き、業務の範囲、利用料金に関する事項を定める。

○ 実施方針の公表 (PFI法第5条) 【令和5年10月30日】

- 事業内容、選定方法、業務範囲等について公表し、事業参画を検討する民間事業者に対し、当該事業に関する情報を広く周知させるための手続き

○ 特定事業の選定 (PFI法第7条) 【令和6年4月30日】

- PFI事業として実施した場合の有効性について客観的評価及び公表を行い、最終的な事業条件等を確定させる。
- 客観的な評価は、定性的評価及び定量的評価を行う。定量的評価は詳細なVFM (バリュー・フォー・マネー) の算出を行う。

※ VFM (バリュー・フォー・マネー)

事業をPFIで行った場合、従来の公共事業手法と比べて何%コストダウンできるかを示す割合

ご清聴ありがとうございました



 **OKINAWA**  
**Japan**  
Where inspiration meets